

高1 ⇒ 中3 調査結果発表会

様々な研究者の尽力によって、社会科学・人文科学・自然科学は発達してきた。ただ、現在、文系・理系の広い分野で「学会」が存在している。学会は「共同研究をする」というより、その分野における研究者が定期的に研究大会（発表会）を開催したり、機関誌や学会誌を発刊したりすることで、その分野の学問を深めているのだ。プロもやっている自身の研究についての議論を楽しもう。

Step1 ▶ 自分の教室、班を確認して着席しよう。
今日も 中学生がグループの真ん中あたりになるよう に着席しましょう！

Step2 ▶ ・発表会スタート 聞き手をかえて、2回程度発表をします。※ 3分 発表、1分 質疑発表会を盛り上げる！ せっかくの発表会、有意義で楽しいものにしましょう。
そのためには積極的に参加することが大事。
また、発表をする人も聞く人も大事なことをメモして忘れないようにしよう。

<発表する人> (高1)
相手に伝えることが大事。相手の目を見て話そう！

●●の結果を××のように分析し、考察しようとしているのですが、適切でしょうか？

調査結果やデータ分析でうまくいっていないことを聞いてみると良い。

発表者がすべての質問に応えられることはない。
答えがわからない質問があれば、良い質問だと捉え、わかるところまで考えを示し、その先は課題にすると応えよう。



<話を聞く人> (中3・高1)
発表者が上手に話せるかどうかは、
聞く人のリアクションで大きく変わってくる。



相づち大事。オーバーリアクションなくらいで。
発表者に 「私は聞いている」ということを伝えよう。

素敵は発表ありがとうございます！
特に●●なことが良かったと思います。
質問ですが、
●●の調査はどのように行う予定ですか？
●●の部分について、詳しく教えていただけますか？
●●について、私はこう思うのですが、いかがでしょうか。

発表を1度聞いただけではすべて理解できる人はいない。発表者が説明したことで構わないので、わからないことがあればどんどん質問しよう。
簡単な質問でも発表者にとって良い経験になります。

Step3 ▶ ・高1生が移動します。
高1生が5人の班 ⇒ 1,2,3,4,5 から選ぶ。
高1生が4人の班 ⇒ 1,2,3,4 から選ぶ。
選んだ数字の分、大きな数の班に進もう。例:2班にいて「3」を選んだ ⇒ 次は5班

※ 移動先の椅子が足りない場合、空いているものを持ってくる。

Step4 ▶ 発表をして、発表を聞いての感想や気づいたことを、以下の枠内に記入し、ロイロノートの提出箱に提出して下さい。提出したら、近くの人と振り返りの内容を共有しましょう。

◆まとめ

10月30日 高1 ⇒ 中3 調査結果発表会

担当教員	生徒数	教室			

中学生 教養総合基礎 ご担当の先生方は、適宜いろいろな教室を回っていただけると助かります。

♪以下のすべての時間は目安なので、適宜調整して下さい♪
 質疑が盛り上がっているようであれば、時間を伸ばしてあげてください。

~13:20 グループごとに着席させてください。

座席は各教室ごと、先生方にお任せでお願いします。
 高校生、中学生それぞれグループはすでに示してあります。
グループ一覧表あります。

13:25 発表スタート(1周目1人目) ※ 3分 発表、1分 質疑応答
 13:29 発表スタート(1周目2人目)
 13:33 発表スタート(1周目3人目)
 13:37 発表スタート(1周目4人目)
 13:41 発表スタート(1周目5人目)

・高1生が移動します。

高1が5人の班 ⇒ 1,2,3,4,5 から選ぶ。

高1が4人の班 ⇒ 1,2,3,4 から選ぶ。

選んだ数字の分、大きな数の班に進む。例:2班にいて「3」を選んだ ⇒ 次は5班

※ 移動先の椅子が足りない場合、空いているものを持ってくるよう、ご指示ください。

13:45 発表スタート(2周目1人目) ※ 3分 発表、1分 質疑応答
 13:49 発表スタート(2周目2人目)
 13:53 発表スタート(2周目3人目)
 13:57 発表スタート(2周目4人目)
 14:01 発表スタート(2周目5人目)

14:05 今日のまとめを書かせ、ロイロで提出 (中学生、高校生 とともに。)

机を元の形に戻す。

<次回以降の予定について>

11/6 (水) 高校生 ⇒ テーマ別 教室に集合してください。

内容